愛媛医療センターニュース
石鎚 ーいしづちー
2018
第51号
4月1日発行
発行者:愛媛県東温市横河原366 国立病院機構愛媛医療センター　発行責任者:院長 岩田猛　http://www.ehime-nh.go.jp

春の花壇（院内）

前号において地名を「東温市須之内」と表記しておりましたが、
正しくは「則之内」でした。お詫びと共に訂正いたします。

救急輪番３年目を迎えて

平成30年１月から記録的な寒さや昭和38年の豪雪を思わせる南予と山間部の積雪で大変でしたが、春らしい季節になりました。

さて当院は平成28年４月から中予地区救急輪番に参加して２年経過しました。受診者は平成28年度2,600名、平成29年度3,000名程度と増加、入院数も平成28年度331名、平成29年度350名程度と増加しております。救急の体制もある程度確立し、ある意味なれてきつつあるのかもしれませんが診療はスムーズになってきています。愛媛大学医学部附属病院からの指導医や研修医の応援を継続いただき急性期医療のレベルを保持しています。救急輪番に参加した効果として近隣の病院や医院からの紹介も増えつつあり、病院の評判も良くなっているように思われます。

しかし医師の高齢化や専門外疾患の対応などで疲れが蓄積していることは間違いなく、研修医や専攻医など30代の医師確保が急務と考えられます。

今後も焦ることなく粛々と救急をこなし、急性期病院としての診療を確立していこうと思います。近隣の皆様には救急車のサイレン音でご迷惑をおかけしていますが、御理解の程お願い申し上げます。

統括診療部長　久保 義一

第13回　院内研究発表会

平成30年３月２日に第13回院内研究発表会が開催されました。今回は12題の発表があり、多くの方にご参加をいただきました。医局から５題、看護部から２題、栄養管理室、放射線科、リハビリテーション科、臨床工学技士、薬剤部からそれぞれ１題の演題をいただきました。

発表の内容は多岐にわたりましたが、各発表者の努力と工夫が感じられました。中には、臨床研究に関連した内容といったものもありましたが、それらも臨床研究を計画するに当たってのヒントになれば良いと思います。

発表に対する質疑応答に関しては、質問者が限られる傾向がありました。院内の発表会ですので、ざっくばらんに多くの方が質問する気風を作りたいところです。

会の運営に関しては、時間計測、マイク、照明等の担当者にはスムーズな進行に貢献していただきました。発表者も持ち時間内の発表に協力していただきましたし、座長のご尽力もあり、ほぼ予定通りに終了することができました。

国立病院機構の理念に、「質の高い臨床研究」があります。そのためには、臨床研究の裾野を広げることが必要だと考えます。まずは小さなことから始めて、それを積み上げていくことで「質の高い臨床研究」が生まれてくるはずです。院内研究発表会が、その最初のステップを始めるためのモチベーションになれば幸いです。

最後になりましたが、今回の発表会に関わっていただいた全ての方にお礼を申し上げます。

臨床研究部長　安原 美文

発 表 演 題 一 覧

Ｓ１

1. 肺結核治療中にレボフロキサシンによる免疫性血小板減少をきたした１例
2. 医療依存度の高い超重症心身障害児をもつ家族への在宅療養継続のための支援
3. 当院におけるＮＡＳＨ症例への栄養療法の工夫
   －新規作成食品常用量鉄早見表を使用して－
4. Ａ病棟における高齢の消化器外科患者への安全な術後離床援助の確立に向けて
   －標準看護計画・記録用紙の作成とその有効性の検討－
5. ＳＹＮＡＰＳＥ　ＶＩＮＣＥＮＴの肺換気解析ソフトにおける解析条件の検討

Ｓ２

1. 超音波診断装置を応用した荷重制限による廃用性筋萎縮の評価
   ～足関節脱臼骨折後の１例～
2. 単孔式腹腔鏡下虫垂切除術の導入について
3. 重症心身障害児（者）病棟における栄養評価スクリーニングについて
4. 長期入院中の重症心身障害者が示す貧血について
5. 呼気中炭酸ガス測定装置“カプノアイ”の有用性について

Ｓ３

1. 臨床評価指標を用いたＰＤＣＡサイクルに基づく医療の質改善プロジェクト服薬指導件数増加への取組み
2. 臨床研究法の施行を目前にして

地域の輪

繋がる地域医療連携

池川内科・神経内科

当院は国道11号線沿いに平成９年に開院し、昨年20年を経過いたしました。生活習慣病を中心とした一般内科および神経内科の診療を行っております。入院は一般病床の他、医療・介護療養病床をはじめ、通所リハビリ、訪問リハビリ、訪問看護、小規模多機能型居宅介護、グループホームなど介護事業に関して対応できる体制を整えております。東温市は高齢化が進んでおり、認知症や老々介護などで自宅での生活が困難になった場合などにお力になれればと考えております。

一方で急性期疾患など当院対応が困難な場合などは、愛媛医療センターや愛媛大学医学部附属病院へ紹介させていただいております。今後も長期療養が必要な症例などあればいつでもご紹介いただければ幸いです。

医療と介護は車の両輪であり、今後も皆様のご要望ご相談に適切にお答えしつつ地域社会に貢献できるよう、医療に支えられた安心の介護を提供いたします。よろしくお願いいたします。

※神経内科診療は現在奇数週の木曜日午前に限定して診療しております。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

施設名：池川内科・神経内科
院　長：池川眞一
診療時間：月曜日～土曜日。午前９時から12時30分、午後２時から６時まで。
休　診：休日、木曜日午後、土曜日午後
住　所：愛媛県東温市志津川89-3
電　話：089-964-7787

スッキリ出入口 ハッキリ新看板

道路拡幅工事により、看護学校側の市道出入口にあった植栽ロータリーが車の出入りの支障になるため撤去しました。撤去後は出入口が広くスッキリとして、市道からの車の流れもスムーズになりました。そして、この出入口に建物の行き先案内板を設置しました。

当院は敷地が広く、市道から車が出入りできる入口が何カ所もあり、初めて来院される方が５階建ての本館を外来や救急受付と勘違いされ、迷われることがあるために、玄関と病棟、看護学校の場所がわかるようにしたものです。

広くなった出入り口

分かりやすくなった新看板

また、以前は市道と病院敷地の境界に生垣や大小様々な樹木があり、市道拡幅に伴い伐採したままになっていましたが、現在は拡幅工事の進行に合わせ、フェンスの設置工事を行っています。設置するフェンスは病院らしく白をベースに、視界を考えて低めにして、病院の外からも中からも見通しがよいようにしています。以前に比べ樹木の伐採等で緑が減ってしまいましたが、その分、明るく開かれた空間が広がったと思います。

フェンスの設置工事は５月末には終了する予定です。地域の方や来院される方にはご不便をおかけしますが、皆さんのご理解ご協力をお願いいたします。

企画課長　森脇 祐治

医心伝心

抗菌薬のおはなし

各科のドクターがそれぞれの専門分野から、病気・治療・予防等々フリーテーマで一文をしたためます。

薬剤耐性（Antimicrobial Resistanceを略しAMRとも言います）という言葉をご存じでしょうか。薬剤耐性とは、細菌やウイルスなどの微生物を壊したり、増えるのを抑制したりする抗微生物薬が効かなくなることを指します。細菌に使用する抗微生物薬である抗菌薬（抗生物質も抗菌薬の一つです）の薬剤耐性は近年特に注目されています。

様々な薬剤耐性が獲得される一方で新しい抗菌薬開発が難しい状態が続いており、このままでは有効な抗菌薬が無い時代がくる可能性があります。これは世界的にも大きな問題で、2015年世界保健機関（WHO）は、加盟国に自国のアクションプラン（目標を決めて達成させるまでの計画）作成を要請しました。

日本は2016年４月に「薬剤耐性（AMR）対策アクションプラン2016-2020」をまとめ、2020年までに取り組む６つの項目をあげています。

６つの項目のなかで、患者さんに身近なものとして抗菌薬の適正使用があります。適正使用とは簡単にいうと「必要な病気のときだけ、効く抗菌薬をしっかり使うこと」です。例として、かぜに抗菌薬を使わない、自己判断で抗菌薬内服を中止しないなどがあります。「抗生物質を使うとかぜがはやく治る」と思われているかもしれません。しかしかぜはウイルスが原因です。抗菌薬（抗生物質）は細菌に作用する薬なので、かぜには効かないのです。

不適切な抗菌薬使用は薬剤耐性をつくる可能性、副作用の危険性や不要な医療費がかかるなどの問題もあります。また少し調子が良くなったからといって自己判断で内服を中止すると、治療がうまくいきません。抗菌薬はきちんと飲み切るようにしましょう（内服中に副作用が疑われる場合は主治医にご相談下さい）。

呼吸器内科医師　佐藤 千賀

いま未来の扉を開けるとき

祝 成人式

１月17日㈬、平成29年度 重症心身障害（療養介護）病棟の成人式を挙行しました。当院からは院長をはじめ、幹部職員が参列し、来賓には県立しげのぶ特別支援学校校長先生をはじめ、お世話になった担任の先生、県立子ども療育センター事務局長、重症心身障害病棟保護者会会長、患者会代表の皆様にご臨席頂き、盛大に挙行することができました。

しげのぶ特別支援学校 喜安勝也校長先生からは、新成人の方の高等部時代の思い出をご紹介いただき、また「笑顔で挨拶を交わし　小さなことにもよろこび　嘘を言わず　悪口も言わず　全てのことに感謝し　人の幸せを祈る　１月１日の気持ちを　皆がみんな　12月31日まで　持ち続けていられたら　美しい国になる」という、星野富弘さんの詩を引用したご祝辞をいただきました。

今年の新成人の方は、成人式の数か月前からご家族にスーツを持参していただき、試着をしたり会場の雰囲気に混乱せず過ごせるよう練習したりして、みんなが成人式を心待ちにしていました。当日は残念ながら体調が優れず、新成人ご本人は成人式に参列することはできませんでしたが、後日スーツを着用し、病棟内を歩きみんなに披露しました。会う人会う人に「かっこいい」「似合う」「おめでとう」とお祝いの言葉をかけていただき、満面の笑みを写真に収めることができました。

成人という人生の節目をみんなでお祝いでき、今年度の成人式を無事に挙行できました。ご協力いただきました皆様に感謝いたします。

保育士　西田 益三

医療安全管理室だより
こんなことしています

ご存じですか？
障害者虐待防止法

障害者虐待防止法は、「（前略）障害者に対する虐待の禁止、国等の責務、障害者虐待を受けた障害者に対する保護及び自立の支援のための措置等を定めることにより、障害者虐待の防止、養護者に対する支援等に関する施策を促進し、もって障害者の権利利益の擁護に資すること」を目的に、平成24年10月から施行されました。この法律では、「何人も障害者を虐待してはならない。」「障害者虐待を受けたと思われる障害者を発見した者は、速やかに通報しなければならない」と義務付けされています。

虐待は、虐待している人に虐待をしているという認識がない場合がある、特定の人や場所に限らずどこでも起こる可能性がある、虐待をされている人が虐待だと認識できないで、自分から被害を訴えられない場合があるなどの特徴があります。

また虐待には、身体的虐待、心理的虐待、放棄・放置、性的虐待、経済的虐待の５つの類型があり、叩く・つねる・無理やり食べ物や飲み物を口に入れるなどの行為や、「バカ」「あほ」など侮辱する言葉や悪口を言う、怒鳴る、子ども扱いする、無視するなどの行為が含まれます。

当院では虐待防止のためのマニュアル整備やポスター掲示、チェックリストによる職員の行動の点検、虐待防止委員会の設置などを行い、障害者に対する虐待防止に努めています。

虐待はあってはなりません。何かおかしいな、あれって虐待じゃないのかなと感じたら、速やかに病棟スタッフへご相談下さい。

暖かい風が心地よい穏やかな季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

「春○○」といった春の訪れを知らせてくれる食材を目にする機会も増えてきたのではないでしょうか。そこで、今回は、「新玉ねぎ」についてお話したいと思います。

皆さんは「玉ねぎ」と「新玉ねぎ」の違いはご存じでしょうか～？

日頃よく使う皮が茶色い玉ねぎは収穫後１か月程低温の冷蔵庫で乾燥させてから出荷されます。それに対して新玉ねぎは収穫後すぐに出荷されるので、皮が薄く柔らかいという特徴があります。また、品種としては早生（わせ）・極早生（ごくわせ）といわれる甘い品種が使われていることから「新玉ねぎ＝甘い」ともいわれているようです。

新玉ねぎは生で食べても甘味があるので、サラダやマリネにもよく使われますが、血液をサラサラにする効果のある硫化プロピル（硫化アリルの一種）は、水に溶けやすい性質を持っているので、水にさらしすぎないのがポイントです。また、加熱することによって甘味成分に変わったり、ビタミンB_1の吸収を高める効果もあるので、豚肉などと一緒に炒める野菜炒めは、疲労回復や食欲増進などの効果も期待できるおすすめメニューです。その他、きのこや野菜をたっぷり使ったスープもGoodですね。

メニューも豊富な食卓の強～い味方「新玉ねぎ」をプラス食材として取り入れてみてはいかがでしょうか。

歴史探訪
オガタマノキと北吉井護国神社

当院南の通用門の脇に、樹高およそ15メートルの一対のオガタマノキがあるのをご存じでしょうか。庭木としては珍しいため、あまり馴染みのない方が多いかもしれません。モクレン科の常緑樹で、榊の自生しない地域では玉串の代用として用いられたり、神社の神域に神木として植えられているのを見かけます。招霊木と書き、神道思想の「招霊（おぎたま）」が語源だそうです。

ではなぜ、当院の敷地にオガタマノキがあるのでしょうか。

当院は、1938年（昭和13年）傷痍軍人愛媛療養所としてスタートしましたが、その時、奉安殿（天皇皇后のご真影（写真）を納める建物）として社殿様式の建物が建てられており、その参道に植えられていたものだそうです。

北吉井護国神社

院内に残るオガタマノキ

戦後は、遺族会・友愛会・奉賛会といった団体の方たちが、『北吉井地区出身の戦没者の追悼と慰霊の為に』と運動をし、1952年（昭和27年）263柱の戦没者を祀る北吉井護国神社としての認可を受け、横河原水天宮境内に遷宮したのだそうです。

建物は移転しましたが、オガタマノキは移植や繁殖が難しい木であることからそのままにされたものかもしれません。

現在、横河原水天宮境内にある北吉井護国神社は当時の建物をそのまま社殿として使っているそうです。

機会があれば、オガタマノキ、北吉井護国神社ともにお訪ねください。

取材協力：横河原水天宮　和田 久幸 宮司

オープンスクールのおしらせ

【日　時】 第１回　平成30年７月21日㈯　10：00～15：30
　　第２回　平成30年７月29日㈰　10：00～15：30
【場　所】 独立行政法人国立病院機構愛媛医療センター附属看護学校
【対　象】 愛媛県下の高校生、社会人
【予定スケジュール】
（内容は検討中ですので６月以降のホームページをご参照下さい）
10:00～　学校の概要説明（学校の授業・実習の説明など）
※教員からの進路相談も行っています。
11:00～　公開講座
11:45～　昼食休憩
12:45～　看護技術体験

午後からの在校生との交流会では、
演習や寮生活のいろいろ…も。

沐浴

応急処置

吸引

採血

【問い合わせ先】
〒791-0281　愛媛県東温市見奈良1545-1
愛媛医療センター附属看護学校「オープンスクール」係
電話089-990-1830
※平日の９：00～16：00でお願いします。

看護学校の頁　～学び舎から～

さらば友よ　第十四回卒業式　旅立ちのとき

3月7日、多くの来賓、保護者、愛媛医療センター職員、学校教職員、在校生が見守るなか、「第14回卒業式」が挙行されました。学校長から卒業証書を手渡された32名の卒業生の表情は、とても晴れやかで輝いており３年間の成長を感じ、担任として胸が熱くなりました。

私は３年生の担任が３回目ですが、今回改めて学生が成長していく過程の素晴らしさを実感しました。学生は、３年間の臨地実習で多くの患者さんやご家族の方と出会い、そして実習施設の方々からの指導を受け看護を学び、人としても成長していきます。本日、袴姿で一歩一歩踏みしめるように壇上に上がり、卒業証書を受け取る卒業生の姿を見て、一日一日の学習の積み重ねと、人と出会い、関わることで成長することの大切さ、尊さに改めて気づかされました。

岩田学校長が式辞の中で、冬季オリンピックでのカーリング女子チームのチーム力やキープスマイルの大切さ、そして、スマホ依存とならず対人能力を向上させることの必要性を述べました。まさに卒業生にとって、４月からそれぞれの場所で看護師としてチーム力を備え、キープスマイルで患者さんと人間関係を築いていくことは必須です。もともと「そだね」志向性の協調性のある卒業生です。当校でそれぞれが身につけた知識・技術・思いやる心に自信をもって、それぞれのペースでさらに人として成長してくれると信じ、今後も見守りたいと思います。

教員　佐伯 香織

※本校は看護師国家試験に全員合格しました！

心ようと言い放し

愛媛医療センターニュース編集委員の持ち回りでお届けします。

体を動かす趣味はあまりなかった私ですが、最近は自転車に乗ることが多いです。知り合いから古い自転車を譲ってもらったことがきっかけで、意外と乗りやすかったため天候のいい時期は週一回くらい通勤でも乗るようになりました。片道十五キロ程度ありますから、いい運動になるかなという感じです。

これだけなら「趣味」と呼ぶにはどうなの？ということになりますが、次第に自転車関連のグッズを買うようになりました。ヘルメットから始まり、グローブ、防寒用のウェア、破れたサドルの交換、ライトの交換…最終的にペダルを交換して、タイヤも少し細い物に自分で交換しました。ここまで自転車をもらってから十ヶ月です。

自分で自転車を走りやすくしていくことが楽しくて、この頃は休みの日に三時間六十キロ程走っていました。すると今度は新しい自転車が欲しくなってきました。もっと早くもっと遠くへ行けるのではないかという、根拠のない期待感が膨らんでくるのです。

妻に相談したところ、「体を動かす趣味を見つけられて良かった」との返事でしたので色々悩んだ末に特価で出ていた自転車を購入しました。自分の脚力ではあまり早く走ることはできませんでしたが、日帰りで百キロくらいなら自転車で行けるようになりました。しかし自分はまだまだ初心者レベルです。年齢だけは重ねていますので、これからもマイペースに「趣味」を続けていこうと思います。

旨脂糖

外来診療担当医表

内科外来直通電話 089-990-1834　FAX 089-990-1858
外科外来直通電話 089-990-1835　FAX 089-990-1859

診療科	診察室	午前・午後	月	火	水	木	金
循環器内科	6診	午前	舩田	鈴木	泉	岩田	舩田
		午後		岩田			
	11診	午前					
		午後			岩田		
	12診	午前					
		午後		泉			
消化器内科	9診	午前	古田	山内（一）	久保	山内（一） (糖尿病専門)	久保
		午後					
	12診	午前			廣岡	大藏	
		午後					
呼吸器内科	10診	午前	阿部	伊東	佐藤	阿部	伊東
		午後					
	11診	午前		渡邉		大西	川上
		午後					
神経内科	12診	午前	小原	尾原			戸井
		午後				小原	
整形外科	15診	午前	宮本			宮本	担当医(初診のみ)
		午後					
	16診	午前	相澤		相澤		横手
		午後					
リハビリテーション科	15診	午前		曽我部	曽我部		
		午後					
外科	14診	午前					
		午後		石丸			
消化器外科	14診	午前		鈴木	森本	渡部（第３週）	
		午後					
呼吸器外科	14診	午前					湯汲
		午後				佐野(第4週14時30分～)	
小児科（神経外来）	14診	午前					
		午後	菊池		今井		菊池

専門外来（予約制）		月	火	水	木	金
心臓外科外来	14診				泉谷（隔週）	
ペースメーカー外来	6診				第２・４（午後）	
糖尿病外来	11診					古川（月１回）
フットケア外来	8診				毎週	
スキンケア外来	救外		第１・３（午前）			
ペインクリニック	11診			山内（康）（午前）		
じん肺外来	14診					西村(第１・３午前)
アスベスト外来	11診		午後		午後	
息切れ外来	11診	渡邉(13時30分～)				
SAS外来	11診					渡邉(14時～16時)
頭痛外来	13診				永井(第２・４午前)	
神経難病	13診			橋本		

※外来受付は8時30分から12時までです。内科は13時から16時までです。
　ただし、土・日・祝祭日・年末年始（12月29日～1月3日）は休診です。
※ＳＡＳ（睡眠時無呼吸症候群）

2018年４月１日現在

独立行政法人国立病院機構　愛媛医療センター

〒791−0281　愛媛県東温市横河原366　TEL 089-964-2411　FAX 089-964-0251
ホームページアドレス　http://www.ehime-nh.go.jp

※弊紙の基本方針として、掲載写真については原則ご本人様の了解を頂いております。

※弊紙へのご意見ご要望ご感想は、当センター内病院新聞編集委員会（担当：小倉）までお寄せください。